

# 成田国際空港における 国際航空貨物輸送の 利用について



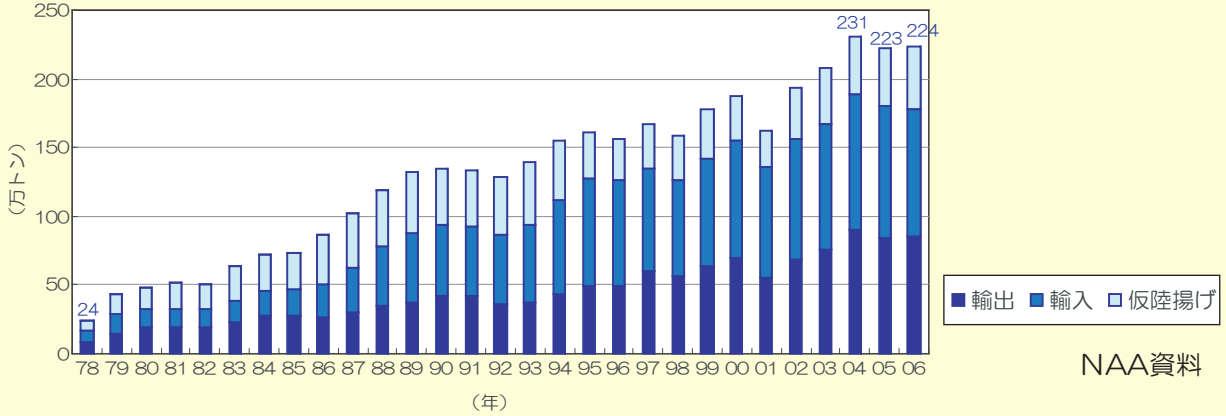
国際航空物流戦略研究会  
成田国際空港株式会社

# 1. 航空貨物の概要

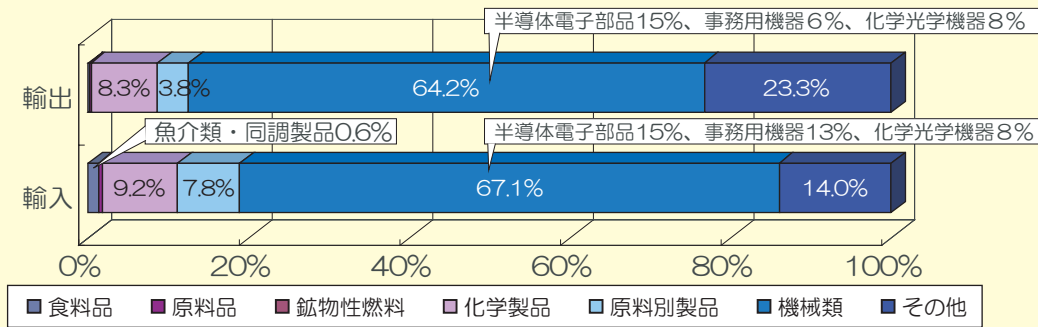
## ① 成田国際空港での貨物輸送

成田国際空港では、半導体など精密機器、医薬品、さらには生鮮食料品などさまざまな製品が取り扱われています。成田での取扱量は、全国の約7割を占め、さらに国際化の進展を背景に、増加しています。

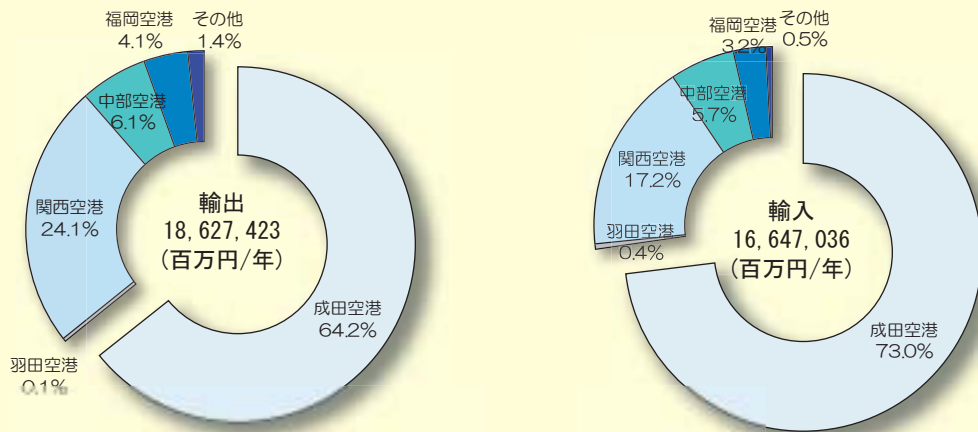
### ■ 成田国際空港の国際航空貨物取扱量の推移(重量ベース)



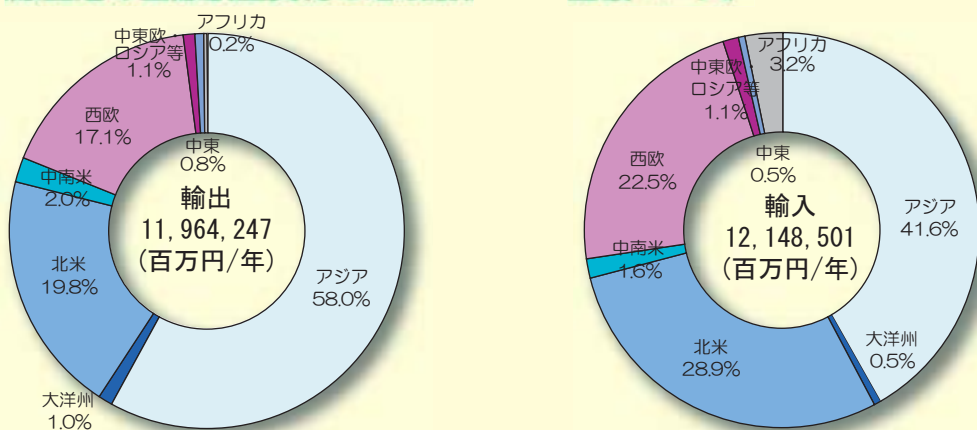
### ■ 成田国際空港の品目別構成比(金額ベース)



### ■ 国際航空貨物の国内空港別構成比(金額ベース)



### ■ 成田国際空港の国際航空貨物の地域別構成比(金額ベース)



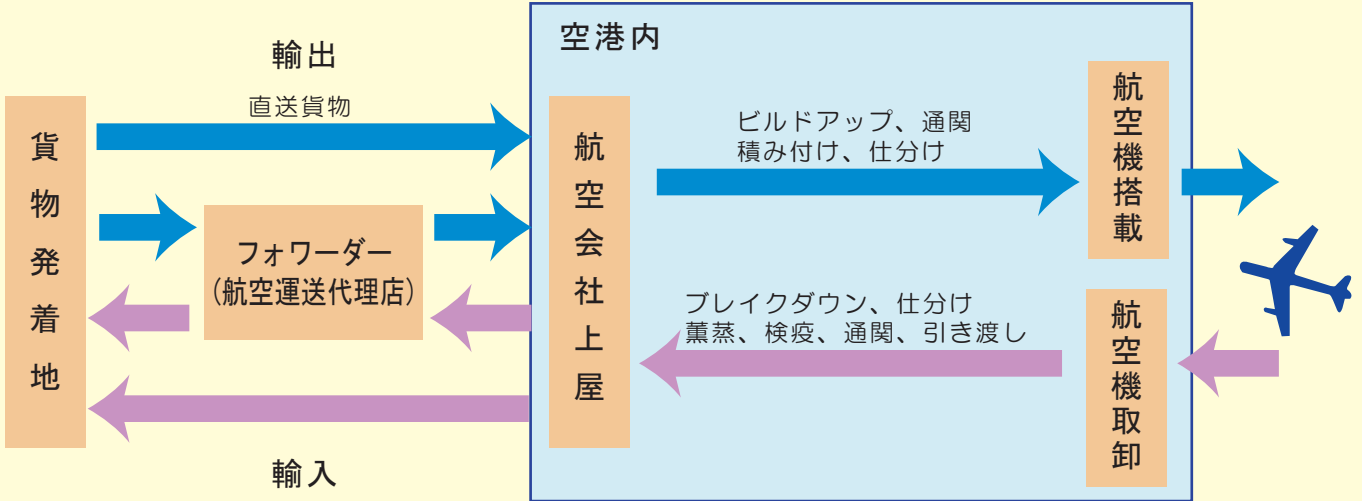
## ② 航空貨物輸送の流れ

航空貨物の輸送の主な流れは、次の様になります。

輸出では、空港に直送または、代理店経由で、空港に搬送されます。

輸入では、検疫、通関後、荷物が引き渡され、貨物着地に搬送されます。

近年輸送効率化のため、ビルドアップやブレイクダウンを空港内だけでなく、空港外で実施するインタクト輸送や、特定荷主、フォワーダー（航空運送代理店）施設で通関を行う場合も多くなっています。

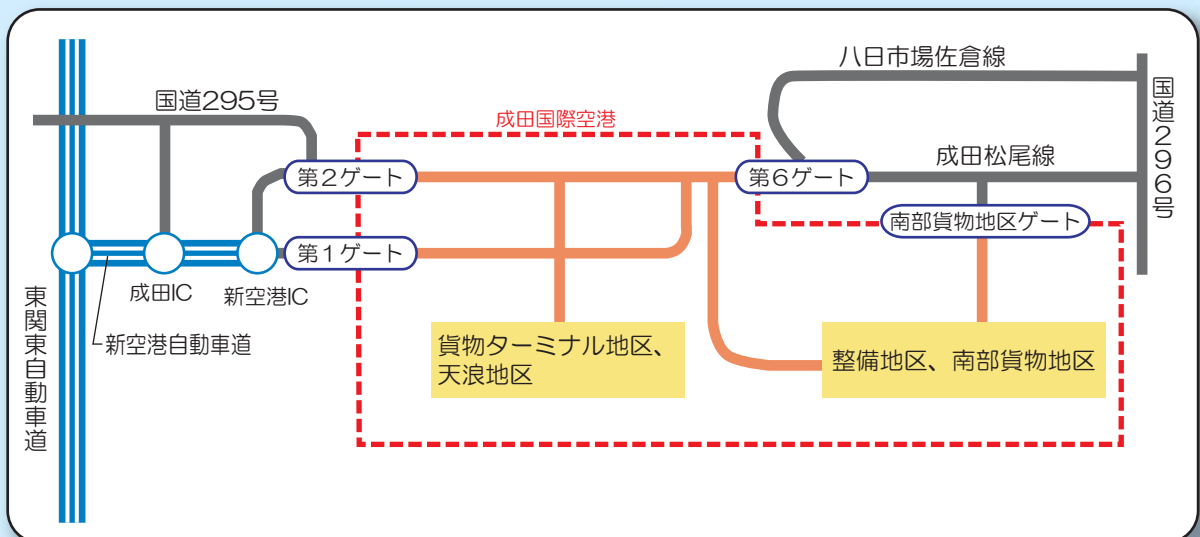


## 2. 貨物輸送で空港を利用される方へ

### ① 空港アクセス

空港へのアクセスは次のルートがあります。

- ・ 東関東自動車道から新空港自動車道を経由して、新空港インターチェンジより第1ゲートまたは第2ゲートへ
- ・ 国道295号線から第2ゲートへ
- ・ 国道296号線から八日市場佐倉線または成田松尾線を経由して、第6ゲート、南部貨物地区ゲートへ



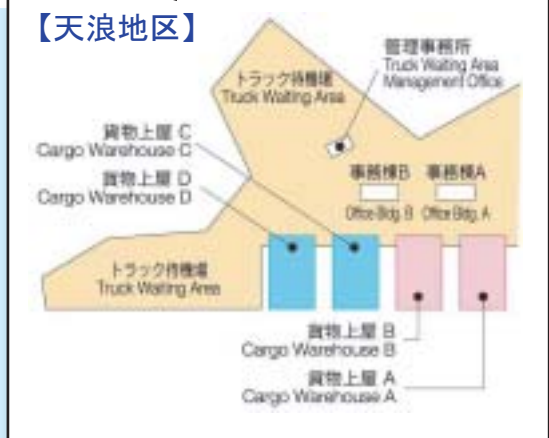
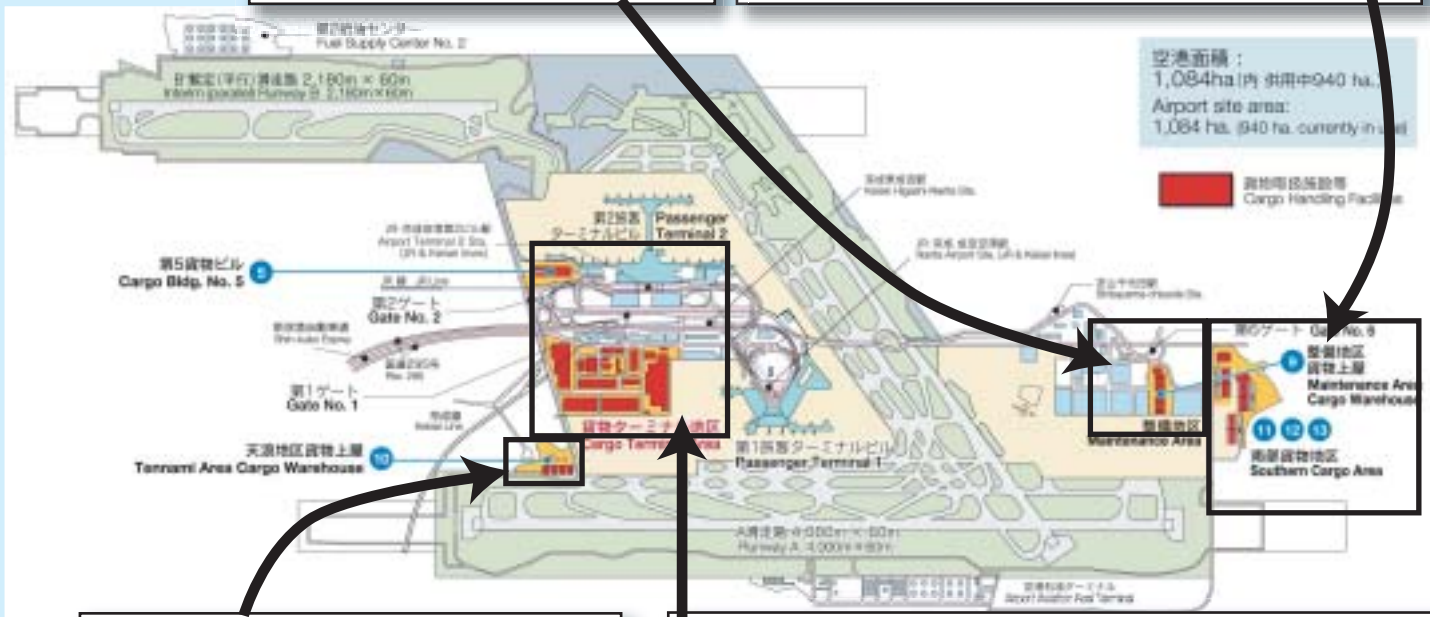
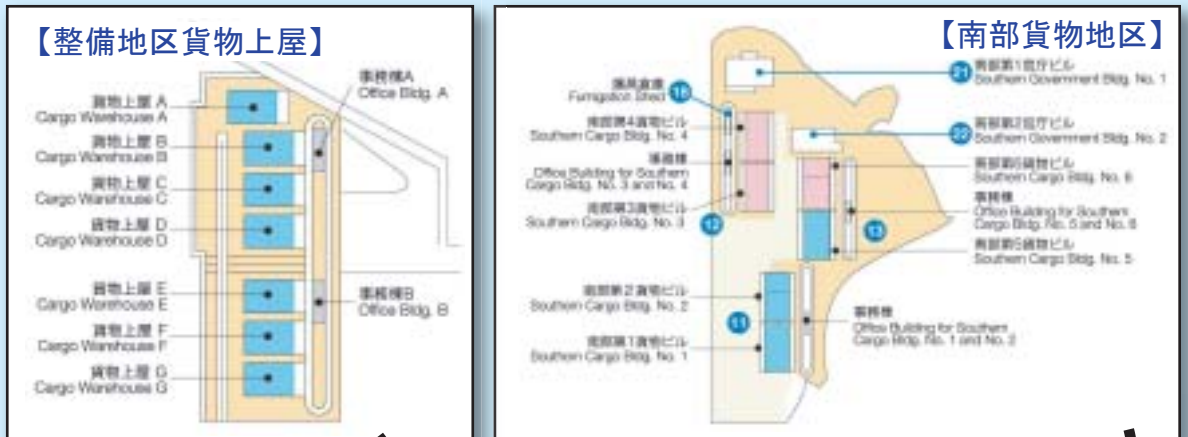


## ② 航空貨物輸送の流れ

成田空港の貨物地区は、以下の図面のとおり貨物ターミナル地区（第5貨物ビルを含む）、整備地区、南部貨物地区、天浪地区に分かれています。

朝の通勤時間帯、16時頃から夕方には、貨物構内への輸出入貨物の搬出入車両により、空港内や空港周辺道路で混雑が発生します。また、金曜日は輸出貨物、月曜日や休み明けには輸入貨物の搬出入車両で混雑します。

このような状況をご理解いただき貨物構内への貨物の搬出入は、なるべく混雑時間帯を避けて頂くたくご協力をお願いいたします。



### ③ 貨物地区内の利用

貨物地区内では安全性、円滑性を高めるため、交通ルールが変更され、平成18年10月から施行されています。ルールを守って交通安全と混雑緩和にご協力をお願いします。

変更された項目	主な内容
1. 貨物地区構内違反車両の取締実施要領  違反点数は貨物地区構内の交通ルール（リーフレット）を参照してください。	①包括入構証車両 ○1回目 累積違反点数が5点に達した場合には、1箇月間車両及び運転手の構内への入構禁止 ②フォークリフト ○1回目 累積違反点数が5点に達した場合には、1箇月間フォークリフトの使用及び運転の禁止 ○2回目は、①、②ともに累積違反点数が3点で、禁止期間が2箇月間となる。 ○3回目は、①、②ともに違反した場合には包括入構証の返納、フォークリフトの使用禁止となる。
2. 貨物地区構内入構車両制限等の実施要領	○包括入構証の申請は、原則貨物地区内入居者からとなる
3. 貨物地区構内フォークリフト使用要領	○使用承認証の有効期限が2年になる ○届け出のない運転手は運転できない ○2年に1回安全運転・管理研修会を受講しないと運転できない ○スピード警報装置等の設置されていない車両は通行できない

※貨物地区構内の交通ルール（リーフレット）は、貨物構内の入構ゲートにおいて配布しています。



### 3. 貨物を送られる方へ

国際航空貨物を輸送する際に、運航の安全や保安の確保を図るために、危険物等の除外、荷崩れ防止、液体漏れの防止等に注意する必要があります。

#### ■標準的な航空貨物の梱包

(A) 貨物



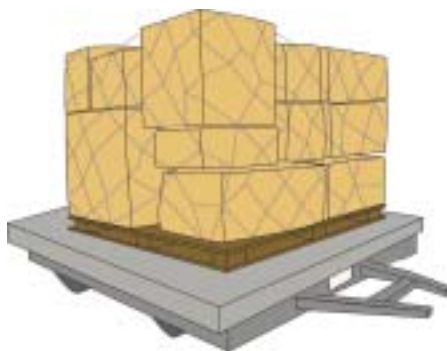
ここでは、上のような個々の貨物を航空機で輸送する場合について考えます。

(B) 貨物のULD(Unit-Load-Device)への積み付け



まず、スキッドと呼ばれる板の上に貨物を積み重ねます。これを「段積み」と呼びます。段積みすることによって航空機内の限られた貨物スペースを有効に活用することができます。

(C) ULDの仕上げ



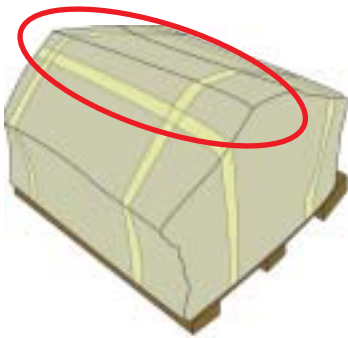
積み重ねられた貨物はネット(網)や衝撃吸収材によって「仕上げ」が施されます。ULDの仕上げをすることによって航空機の揺れによる衝撃・荷崩れ等によって貨物が破損・変質する可能性を減らすことができます。



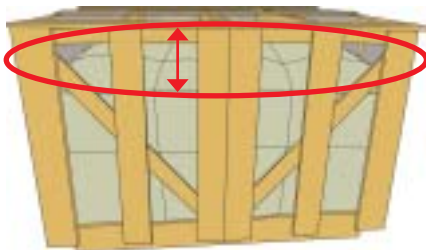
航空貨物輸送では、適切な梱包材で、適切な梱包方法により梱包することが必要になります。以下の様な梱包には特に注意をお願いいたします。



梱包上部（赤枠内）の高さが異なるため、この貨物の上には、段積みができない。



梱包上部（赤枠内）が水平でないため、この貨物の上には、段積みができない。



枠の上部に隙間があり、航空機が揺れた場合に、貨物が破損・変質する可能性があります。ひどい場合は貨物の中身が飛び出す可能性があります。



梱包方法が十分であっても、梱包材の強度が低いと貨物が荷崩れする可能性があります。

航空貨物は、内容品が木・段ボール等で完全に包まれた状態(完全梱包)で航空会社又は代理店にお引き渡します。一部の貨物については、一定の条件を満たす場合にスキッドや木枠のみの梱包(部分梱包)での輸送が可能です。ご不明の際は、必ず事前に担当代理店・フォワーダー(航空運送代理店)又は航空会社にご相談下さい。

---

成田国際空港における国際航空貨物輸送の利用について

平成19年3月

国際航空物流戦略研究会

成田国際空港株式会社

---